



町長の行政報告を お知らせします

八峰町6月議会定例会が25日から27日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

春の行政協力員会議を開催 自治会の事業に町が支援

春の行政協力員会議を5月9日に開催し、今年度の町の主要事業を説明してご理解とご協力をお願いしました。中でも、新規事業の「自治会育成支援事業補助金」は、今年度から3カ年、自治会で取り組む様々な事業を支援するため、出席した自治会長の皆さんも大きな関心を寄せていました。



乳がん・子宮がん検診の 受診率が増加

乳がん検診の受診率は対前年比10・7ポイント増の62・2%、子宮がん検診は

10・1ポイント増の54・2%となっております。受診環境整備の効果の表れと考えています。今年度は大腸がん検診において受診を勧めるコールリコール事業を実施するほか、検診料はワンコインの500円を継続し、また、託児や受診者の家族で見守りが必要な方がいる場合はヘルパーを派遣するなど、今後も受診しやすい環境を整えて受診率の向上を図り、早期発見早期治療ができるよう努めます。

安定した国保運営のため 国民健康保険税率を改正

国民健康保険の財政運営は国保被保険者の高齢者の増加や、医療技術の高度化等により、医療費は年々増加する一方、経済不況の影響などによる保険料収入の減少により、財政運営は非常に厳しい状況となっております。

今後も、医療費はさらなる増加が予想され、万一に備えていた国保の貯金である基金の保有状況もほぼゼロの状態です。これまで町では、国保加入者の負担をできる限り抑えるために、平成20年度以来、6年間、税率等を据え置いて運営してきました。

しかし、今後も安定した国保運営を継続するため、6月2日開催の被保険者を含めて構成する「八峰町国民健康保険運営協議会」において協議していただいた結果、一般会計からの法定外繰入を実施しながら、被保険者の急激な負担増とならないような税率等の改正も止むを得ない状況となっております。

アキタクロージング株式会社の 企業誘致に成功

いとされ、平成26年度保険料の税率等を改正することにしました。

昨年11月、アオサダ被服の経営破たんに伴い、株式会社サニーアオサダも倒産して従業員全員が解雇となったことは周知のとおりです。町ではこの問題を解決すべく四方八方に奔走していましたが、今年初めに県内の縫製会社「アキタクロージング株式会社」から旧峰浜工場の工場施設、失業中の従業員をそのまま受け継ぎ、営業を再開したいというありがたい申し出がありました。町では、破産管財人の弁護士やサニーアオサダの債権を持つ銀行を訪ね、アキタクロージング株式会社へ動産、不動産の任意売却を願って来たところでした。このような要望活動が実を結び、管財人からアキタクロージングに、裁判所が旧峰浜工場の動産、不動産の売却先をアキタクロージングに決定したとの電話報告があり、現在アキタクロージングでは所有権移転の手続きを進めている最中です。

アキタクロージングでは、旧サニーアオサダの従業員等を中心に30〜40人の雇用を考えており、6月初めからハローワーク等で募集を始めています。試験操業を経て、早ければ7月上旬から操業を開始したい考えです。町内から多くの雇用者を見込めるため、町としては産業振興促進条例等に基づき、できる限りの優遇

6月議会定例会に 提出した主な議案

- 八峰町税条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- 平成二十六年度八峰町一般会計補正予算
2億2,764万9千円を増額するもの
- 主な追加補正分
町道整備事業
林道整備事業
峰浜野球場改修事業
臨時福祉給付金
多面的機能支払交付金事業負担金
- 高性能林業機械導入補助金
プレミアム付商品券発行事業補助金
- 統合小学校及び統合中学校改修工事基本設計業務委託料など
- 主な減額補正分
期末勤勉手当の支給割合の変更による人件費の減額など
- 各特別会計補正予算
工事請負変更契約の締結について

農地中間管理事業 本格的な業務開始は秋以降を予定

秋田県では、公益社団法人秋田県農業公社で「農地中間管理事業」を行うこととし、この4月から業務が始まっています。今後、各市町村ごとの契約内容を見ながら認可後に契約締結する予定となっております。

委託業務の主な内容は、相談窓口業務、出し手・受け手の掘り起こし、借受予定農地の位置・権利関係の確認、出し手・受け手との条件交渉等々です。今後、公社との業務委託契約締結後、本格的な業務開始、農地異動は秋以降になるものと考えています。

今年度の生薬試験栽培は 12品目を計画

生薬栽培については、休耕農地の解消や農家の経営安定を図る新たな作物として取り組むべく、昨年度から町有農園で試験栽培を本格的に行っています。町では、今年度から国で創設された「薬用作物産地確立支援事業」を活用できるように東北農政局に申請し、事業認定及び補助金割り当て内示があり、試験栽培を実施することになりました。

今後の生薬栽培について、町や農家、東京生薬協会の会員などで構成する「八峰町薬用作物栽培検討委員会」を立ち上



初のチャレンジデーに手ごたえ 来年度の参加にも意欲

5月28日に実施したチャレンジデーには、多くの住民がスポーツに親しみ、ス

スポーツへの関心を高め、日常的にスポーツをする人を増やすことを目的として今年度から参加したところでした。結果は、参加者4,836人、参加率59・8%で対戦相手となった岩手県葛巻町の73・4%にはかきませんでしたが、多くの町内事業所や自治会、さらには各種団体の協力を得ることができ、初めての参加としては、良かったのではないかと考えています。他の自治体と競うことで地域コミュニティの促進、住民の連帯感の醸成など元気な町づくりの寄与することができ、来年度以降も引き続き実施したいと考えています。

あきた白神体験センター 利用者数は前年度から増加

あきた白神体験センターの平成25年度利用実績は、前年度と比較すると、宿泊利用者数で163人の増、日帰り利用者数では498人の増となりましたが、利用収入では約26万円の減収となっております。減収の要因は、体験活動参加者数は増加しているものの、シーカヤックや磯釣りなど、直接センター収入となる体験活動参加者が減り、海辺の観察や留山観察、十二湖散策などセンター収入が少ない体験活動参加者が増加したことによりです。

平成26年度の利用申込み人数はセカンドスクールの利用で減少する見込みですが、一般利用者の拡充にも努めます。